

# 次世代ヘルスケア産業協議会 健康投資WG中間報告の概要について

平成26年6月5日

次世代ヘルスケア産業協議会 健康投資WG

主査 森 晃爾

# 健康投資・健康経営(※)の重要性とその意義

- 高齢化の進展と医療費の増大が進む我が国社会において、国民一人ひとりの取組だけでなく、企業や健康保険組合が、組織として従業員等の健康状態の維持増進に取り組む必要性が高まっている。
- 企業がこのような取組を行うことは、個々人の生活の質の向上に加え、生産性の向上や組織の活性化による業績の向上、企業イメージの向上が期待される。
- 企業の取組を促進するためには、企業が積極的・戦略的に取り組む環境を整えることが必要であり、そのためには効果の「見える化」や取組を社会的に評価することが重要である。

## 健康投資の効果

### 想定される健康投資の効果

#### 健康投資

(ヘルスケアサービスの購入・利用)

個人

企業\*

\* 事業主・健保組合を含む

#### 健康行動の改善

<個人>

- ・食生活改善
- ・運動量増加
- ・適正な睡眠
- ・飲酒/喫煙習慣改善等

<企業>

- ・健診受診率向上
- ・メンタル対策の実施等

#### 健康状態の改善

<個人>

- ・BMI改善(肥満解消)
- ・健診数値改善

<企業>

- ・メタボリックシンドローム該当者及び予備群数の減少
- ・うつ病有病者の減少等

#### 生産性・医療費等の改善

<個人>

- ・健康寿命延伸
- ・個人負担医療費抑制等

<企業>

- ・医療費適正化
- ・生産性(休職率低下)、企業イメージの向上
- ・外部資金調達の容易化等

評価対象: 個人単位、プログラム(取組)単位、事業所単位、企業全体 等

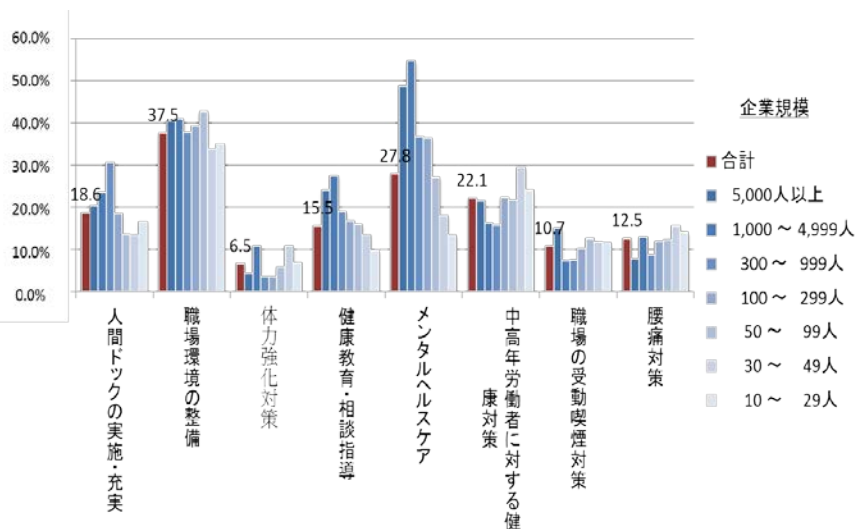
※日本政策投資銀行の定義では、「従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践を図ることで従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上を目指す経営手法」を「健康経営」と位置づけている。

# 健康投資・健康経営の現状

- 企業による従業員等への健康管理の取組状況には、事業内容や企業規模の違いにより差がある。
- 健康保険組合が計画の策定と実施をすることが予定されている「データヘルス計画」と、企業が行う健康投資・健康経営の取組とが密接な連携を図ることが重要である。
- 一部、先進的な取組を行っている事例も生まれており、これらの経験や方法論等を整理・体系化し、共有することが必要とされている。

## 企業の健康管理の取組状況

- ・人間ドックの実施、充実、健康教育・相談指導、メンタルヘルスケアなど、企業規模により取組状況に差があるものも存在する。



出所：厚生労働省「平成24年労働者健康状況調査」よりNTTデータ経営研究所作成

## 先進的な取組の例

### 企業

- 従業員に対して健康管理プログラムを提供し、その参加状況を詳細にフォローアップしている事例
- 従業員が会社の取組に対し積極的な関与(例. 企業の健康増進計画への提言や事後評価への積極的な情報提供)を行っている事例

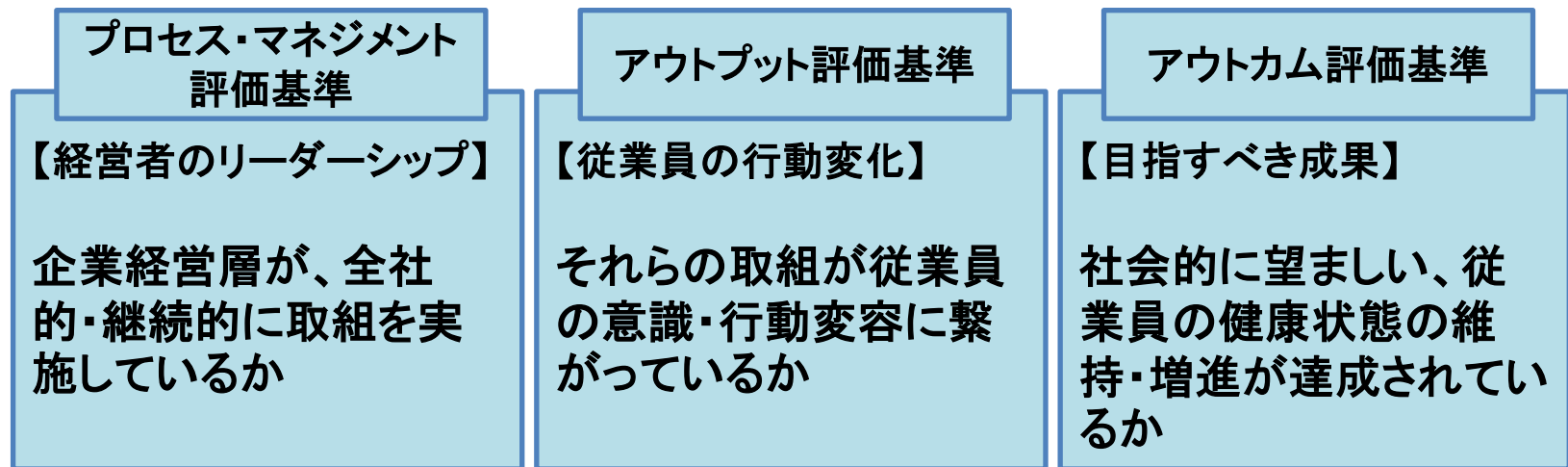
### 健康保険組合

- 実施義務がある特定保健指導以外についても、生活習慣病のハイリスク群に対してセルフマネジメントプログラムを実施している事例
- 加入者の疾病保有状況を分析し、面談と電話での指導による糖尿病重症化予防活動で効果を上げている事例

# 健康投資WGにおける検討内容の中間整理①

- 今後、企業や健康保険組合が取組を進めるにあたり、様々な判断を行うための基礎となる共通評価指標の構築と普及が必要である。
- 医療費の適正化などの「アウトカム評価」だけでなく、経営層の取組実施を測る「プロセス・マネジメント評価」、取組が従業員等の行動変容に繋がっているかどうかを評価する「アウトプット評価」を合わせた3つの観点から評価されることが重要である。

## 健康投資・健康経営評価指標のフレームワーク



活 用

- ① 自社が取り組んでいる健康投資・健康経営の成果の確認
- ② 市場を含む外部からの評価
- ③ データヘルスなどの健康保険組合の取組との連携 等

# 健康投資WGにおける検討内容の中間整理②

- 対象者や取組の性格の違いを踏まえ、企業と健康保険組合を区別して評価指標の例を整理した。なお、企業と健康保険組合が互いに連携することも重要であることから、それぞれに共通する評価指標の例を整理した(下表)。
- 各指標は企業や健康保険組合の特性や規模に応じて、取組成果の確認や企業と健康保険組合の連携などのため、一定の柔軟性をもって活用することが適切である。

## 健康投資・健康経営評価指標の例

### 企業の取組を評価するための指標

#### (1)企業の取組に関する評価(プロセス・マネジメント評価)指標

- ①生活習慣病予防の取組状況
- ②従業員等に対する情報提供
- ③各種任意検診の実施状況
- ④労働時間の適切な管理状況
- ⑤その他、企業ブランドの向上等につながる事項(※)

#### (2)従業員等の行動変容に関する評価(アウトプット評価)指標

- ①健康診断受診率
- ②健康診断後の受療率
- ③その他、企業ブランドの向上等につながる事項(※)

#### (3)従業員等の健康状態の改善に関する評価(アウトカム評価)指標

- ①医療費
- ②メタボ改善率
- ③その他、企業ブランドの向上等につながる事項(※)

### 健康保険組合の取組を評価するための指標

- ①生活習慣病予防の取組状況
- ②加入者に対する情報提供
- ③特定健康診査及び特定保健指導の実施率
- ④各種任意検診の実施状況
- ⑤医療費
- ⑥メタボ改善率

※企業と健康保険組合の連携に資する指標とは別に、企業の業績や企業ブランドの向上等の社会的な評価につながる事項を、「その他、企業ブランドの向上等につながる事項」として整理している。

# 健康投資WGにおける検討内容の中間整理③

- 企業による取組の促進は必要だが、それぞれの企業の認識や取組状況には差異があることに留意する必要がある。
- その上で、企業による取組を促進する方策としては、「健康投資・健康経営を促進するインセンティブの構築」、「健康投資・健康経営の手法等の共有」、「健康投資・健康経営に関する情報発信の促進」の3つの側面からのアプローチがある。
- その他、社会的な取組として、国民一人ひとりの意識喚起を行っていくことも重要である。

## 健康投資・健康経営を促進するための方策

### 健康投資・健康経営を促進するインセンティブの構築

- ・優れた取組に対する社会・市場からのプラス評価
- ・財政面でのインセンティブの付与

### 健康投資・健康経営の手法等の共有

- ・健康投資・健康経営に関するベストプラクティスの共有
- ・健康投資・健康経営手法のマニュアル化

### 健康投資・健康経営の促進

### 健康投資・健康経営の情報発信の促進

- ・健康投資・健康経営への自社の取組の公開等